

教科	国語	科目	現代文B	授業 時数		週 3 時間		教材	改訂版 現代文B (数研出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年1組(文Ⅲ) 高等学校 3年5組～8組(文Ⅱ)										
時期	項目		到達目標								
前期	4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ◆【評論】『文化が違う』とは何を意味するのか? 岡 真理 ◆【小説】『檸檬』梶井基次郎 ◆近現代の文学史について① <p style="text-align: center;">第一回 定期試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆筆者がいう文化相対主義とはどのようなことを理解する。 ◆真の異文化理解とはどのようなことを考える。 ◆「私」の思考や行動に見られる青春期的特質は、どのようなものを理解する。 ◆自分の中にある心の「不思議」さと向きあうことができる。 ◆プリント等を使用し、近現代の文学史についてまとめ、時代背景を把握する。 								
夏休み		★国語科課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆読書感想文(校内コンクール) ◆短歌(東洋大学/外部コンクール) ◆俳句(神奈川大学/外部コンクール) 								
前期	9月～12月	◆【評論】『消費されるスポーツ』多木浩二	<ul style="list-style-type: none"> ◆アメリカの近代スポーツの特徴と大衆消費社会との関連性を理解させる。 ◆近代スポーツのメディアの発達に伴った変容について読解させる。 								
後期		<ul style="list-style-type: none"> ◆【小説】『朝のヨット』山川方夫 ◆【評論】『『内的成長』社会へ』上田紀行 ◆近現代の文学史について② <p style="text-align: center;">第二回 定期試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆登場人物の生き方や考え方を自己の問題としてとらえ、作品の主題を考える。 ◆各段落の繋がりを意識するとともに、同じ内容がどのように言い換えられているかに着目させる。 ◆「中間社会」「内的成長社会」の中身について考えさせる。 ◆プリント等を使用し、近現代の文学史についてまとめ、時代背景を把握する。 								
冬休み											
備考	<p style="text-align: center;">★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります★</p> <p>※ 定期試験については、各回ともに記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。</p> <p>※ 授業内において「防災」に関する内容に触れる。</p> <p>▼ 行事その他の予定を鑑みて、副教材「新版 パーフェクト常用漢字」より、漢字の書き取りテストを行う。</p> <p>▼ 文Ⅲクラスの定期試験問題は文Ⅱクラスとは別のものとする。</p> <p>▼ 課題等は類型により異なる場合がある。</p> <p>【第一回 定期試験範囲】 『文化が違う』とは何を意味するのか? / 『檸檬』 / 『近現代文学史』①</p> <p>【第二回 定期試験範囲】 『消費されるスポーツ』 / 『朝のヨット』 / 『近現代文学史』②</p> <p>※テストは、準拠ワークや便覧等事前に指定した副教材からも出題する。また、「新国語問題総演習 改訂版」は自習用テキストとする。</p>										

教科	国語	科目	現代文B	授業 時数	週 3 時間	教材	改訂版 現代文B 数研出版	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年2,4組 (文 I)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	◆【評論】『「文化が違う」とは何を意味するのか?』岡 真理 ◆【小説】「檸檬」梶井基次郎 ◆【文学史】近現代文学史① ◆【演習】大学入試問題演習 ★ 第一回 定期試験 ★			◆筆者の主張の文化相対主義を理解する。 ◆青春期の特質を理解する。 ◆便覧等を使用し、近現代の文学史を理解する。 ◆過去問題を解くことで解法を身に付ける。				
夏 休 み		★国語科課題			◆読書感想文(校内コンクール) ◆短歌(東洋大学/外部コンクール) ◆俳句(神奈川大学/外部コンクール)				
前期 後 期	9月～12月	◆【評論】「消費されるスポーツ」多木浩二 ◆【小説】「舞姫」森 鷗外 ◆【文学史】近現代文学史② ◆【演習】大学入試問題演習 ★ 第二回 定期試験 ★			◆アメリカの近代スポーツの特徴と大衆消費社会との関連性を理解させる。 ◆近代スポーツのメディアの発達に伴った変容について読解させる。 ◆近代化に翻弄された日本の問題点を理解する。 ◆便覧等を使用し、近現代の文学史を理解する。 ◆過去問題を解くことで解法を身に付ける。				
冬 休 み									
備考	★授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★ ※「新国語問題総演習」等で小テストを行う。(単語、文法、重要語等) ※大学入試問題、模擬試験問題等を活用して入試対策をしていく。 ※授業内において「防災」に関する内容に触れる。 【第一回 定期試験範囲】 『「文化が違う」とは何を意味するのか?』/「檸檬」/文学史 【第二回 定期試験範囲】 「消費されるスポーツ」/「舞姫」/文学史								

教科	国語	科目	古典B	授業 時数	週 2 時間	教材	改訂版 古典B (古文編・漢文編) 数研出版	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年1組 (文Ⅲ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4～7月	◆『徒然草』～「九月二十日のころ」 ◆『無名草子』～「清少納言と紫式部」 作品の鑑賞を通して、助詞・助動詞・敬語を修得する。 ◆近世文学史 I ★ 第一回 定期試験 ★			◆時代背景や作者と関わりのあった人々のエピソードを手がかりに、作者の人生観をとらえる。 ◆作者の理想とする生き方をもとに、今の自分のあり方、将来の生き方について考える。 ◆評論を読むことで、古人の文学作品の評価や考え方を学ばせ、自己の論理の構築に役立たせる。 ◆あわせて、評論からその作品の価値を再確認させる。				
夏 休 み									
前期・ 後期	9月～12月	◆『論語』・『孟子』・『荀子』・『老子』 『莊子』・『韓非子』・『墨子』・『漢詩』 ◆『玉勝間』～「師の説になづまざる事」 ◆近世文学史 II ★ 第二回 定期試験 ★			◆中国古典の主な思想をとりあげ、重要句法に注意しながら現代語訳し、内容を論理的に読み取る。その上で現代にも通じる各思想の魅力を再確認する。 ◆学問に対する宣長の姿勢を理解する。 ◆「国学」の誕生経緯とその理念について知識を深める。				
冬 休 み									
備考	★授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★ ※授業内において「防災」に関する内容に触れる。 【第一回 定期試験範囲】 『徒然草』／『無名草子』／近世文学史 I 【第二回 定期試験範囲】 『論語』・『孟子』・『荀子』・『老子』・『莊子』・『漢詩』から適宜／『玉勝間』／近世文学史 II								

教科	国語	科目	古典B	授業 時数	週2時間	教材	改訂版古典B 古文編・漢文編 (数研出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組,4組 文系I								
	時期	項目			到達目標				
前期	4～7月	歴史物語 『大鏡』・道真と時平 評論 『無名草子』・清少納言と紫式部 漢文 入試問題 ※第一回定期試験			敬語表現を活用して、人物関係を理解する。災害・防災 に対する当時の人々の考えを学ぶ。 評論から古人の文学作品の評価や考え方を学ぶ。 入試の過去問題を通して、漢文全体の学力向上を図る。				
夏 休 み									
前期	9月	日記文学 『蜻蛉日記』・うつろひたる菊 『和泉式部日記』・薫る香に			日記文学の自照性に触れることで、ものの見方・考え方 を広げる。主語や省略されている事柄、指示内容などを 考えて文脈をたどりながら本文を解釈し、古文の読解力 を強化する。				
後 期	10月～12月	物語 『源氏物語』・紫の上の死 ・浮舟 漢文 入試問題 ※第二回定期試験			作品を通して「単語」「文法」「読解」「文学史」を学習し、 「入試に対する力」と「古典を活用する力」を総合的に身 に着ける。 入試過去問題によって漢文の総合的学力を身につける。				
冬 休 み									
備 考	※小テストを実施。(単語、文法、古典常識等) ※大学入試問題、模擬試験問題等を活用して入試対策をしていく。 第一回定期試験 歴史物語、評論、漢文、古文単語、文学史 第二回定期試験 日記文学、物語、漢文、古文単語、文学史 ※漢文の試験範囲は入試問題から指定する。								

教科	国語	科目	古典B	授業 時数		週2時間		教材	古典(古文編・漢文編) 数研出版	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組										
	時期	項目				到達目標					
前期	4月・5月 6月・7月	【防災に関する学習】 ・方丈記 養和の飢饉 【随筆】 ・枕草子 宮に初めて参りたるころ 【日記】 ・紫式部日記 同僚女房評 第1回定期試験				・災害時の記録が人々に何を訴えるのかを考える。 ・助動詞を見極める。 ・文学として確立した随筆の特徴を理解する。 ・宮中での生活と清少納言の性格について理解する。 ・敬語を見極める。 ・文学として確立した日記の特徴を理解する。 ・作者の紫式部と作品中に出てくる有名な古典文学の作者について理解を深める。 ・呼応表現を見極める。					
夏 休 み											
前期	9月	【随筆】 ・徒然草 九月二十日ころ				・当時の生活、文学における月の形と恋愛についての関係について理解を深める。 ・助動詞、敬語を見極める。					
後 期	9月・10月 11月	・枕草子 鳥の空音 【日記】 ・和泉式部日記 薫る香に 【漢文】 ・論語 道德斉礼 ・孟子 性善 ・荀子 性悪 第2回定期試験				・当時の和歌を利用した恋愛のやりとりについて理解を深める。 ・助動詞、敬語を見極める。 ・当時の生活、文学におけるほととぎすの意味について理解し、和歌を利用した恋愛のやりとりについて理解を深める。作者の和泉式部の人物像を理解する。 ・助動詞、敬語を見極める。 ・中国古典の思想を理解し、現代の社会を考える。 ・徳治主義を理解する。 ・性善説を理解する。 ・性悪説を理解する。					
冬 休 み											
備 考	※入試対策として過去問題、文法・古典常識・単語テスト・文学史等を実施する。 【第一回 定期試験範囲】 随筆(1作品)／日記「同僚女房評」／文学史 【第二回 定期試験範囲】 随筆(1作品)／日記「薫る香に」／漢文(1作品)／文学史										

教科	国語	科目	受験国語演習	授業 時数		週1時間		教材	赤本大学入試シリーズ (教学社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組,4組										
	時期	項目					到達目標				
前期	4月・5月 5月・6月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習院大学過去問 ・明治大学過去問 (予備:青山学院大学過去問) ・防災評論 山口明の防災評論「コロナウイルスと災害避難」 <p>第1回定期試験</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題の本文を正確に読み取ることができる。 ・設問の質問内容を理解し、正解に繋がる表現や内容が本文のどこにあるのかを見つけることができる。 ・論理的文章・古文・漢文を扱う。 ・防災評論を読み取り、防災への理解を深める。 				
夏休み		夏期休暇課題									
前期	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・青山学院大学過去問 					<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題の本文を正確に読み取ることができる。 ・所定時間内に解くことができる。 ・設問の質問内容を理解し、正解に繋がる表現や内容が本文のどこにあるのかを見つけることができる。 				
後期	10月 ～11月	<ul style="list-style-type: none"> ・立教大学過去問 ・中央大学過去問 (・予備:法政大学過去問) <p>第2回定期試験</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・正答率を上げる。 ・論理的文章・古文・漢文を扱う。 				
冬休み											
後期											
試験範囲		<ul style="list-style-type: none"> ・第1回定期試験範囲:学習院大学過去問、明治大学過去問、他。 ・第2回定期試験範囲:青山学院大学過去問、立教大学過去問、他。 									

教科	公民	科目	政治・経済	授業 時数		週2時間		教材	高等学校 改訂版 政治・経済	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年(選択必修) 1,2,4,5,6,7,8組										
時期	項目		到達目標								
前期	4月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施 番外「成人する・選挙権を持つ」 第1章より政党政治と選挙制度 第1章 現代経済のしくみと特質		・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.74～81							
	5月	①経済社会の発展 ②経済主体と経済活動 ③市場経済と景気変動 ④経済成長と景気変動		教科書p.114～136							
	6月	⑤物価の動き ⑥金融のしくみとはたらき ⑦財政のしくみとはたらき ⑧日本経済の歩み		教科書p.137～145 教科書p.146～161							
	7月	第1回 確認試験(試験範囲:4～7月までの内容)		・時事問題について理解を深め、実践力を身に着ける							
夏 休 み	7～8月	大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習 方法の相談に必要な応じて対応									
前期	9月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施 ⑨労働問題 ⑩社会保障制度の充実		教科書p.172～186 ・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する							
後 期	10月	第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合		教科書p.196～210							
	11月	④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割 ※防災学習を実施する。		教科書p.211～218							
	12月	第2回確認試験(試験範囲:上記単元項目)		・時事問題について理解を深め、実践力を身につける							
冬 休 み		大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習 方法の相談に必要な応じて対応									

教科	地理・歴史	科目	世界史B	授業 時数		週3時間	教材	詳説世界史 (山川出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組,4組(選択)									
	時期	項目			到達目標					
前期	4月	中国文明～漢時代			<ul style="list-style-type: none"> ・黄河流域と長江流域に発生した文明がどのように統合し、統一王朝が形成されたのかを学習する。 ・中国の拡大とアジア地域との連結を中心として、政治や経済にどのような動きがあったのかを学習する。 ・非漢民族による中国支配の形態と、漢王朝の違いに焦点を当て、学習する。 ・イスラーム教の誕生と、その分裂までの流れを理解する。 					
	5月	隋唐時代～宋時代								
	6月	元時代～清の隆盛								
	7月	イスラーム教の誕生								
		第1回定期試験			中国古代史～清最盛期					
夏 休 み	8月	自宅学習			・主題学習に取り組む					
前期	9月	イスラーム帝国の誕生～オスマン帝国の衰退			・イスラーム王朝の成立から拡大と変遷を学び、イスラーム史最大の王朝の最盛期から衰退期の流れを学習する。					
後期	10月	17～18世紀のヨーロッパ文化～フランス革命			<ul style="list-style-type: none"> ・市民革命による絶対王政の崩壊と、民主化に向けた各国の動きをそれぞれ学習していく。 ・民主化による国家の再形成と、大勢力からの独立運動やそれにあわせて始まる各国の世界進出について学習する。 ・各国の植民地の獲得運動や、経済停滞期について学習し、第一学年時に学習した現代史と連結する。 ・世界史の転換期の背後にある災害を学び、防災の重要性を考える 					
	11月	ウィーン会議～19世紀の欧米文化								
	12月	帝国主義の誕生								
		防災と世界史								
		第2回定期試験			イスラーム史・18～19世紀ヨーロッパ史					
冬 休 み		自宅学習			・主題学習に取り組む					
後期		自宅学習			・それぞれ自分の目標に沿った内容を各自で学習する					
春 休 み		自宅学習			・それぞれ自分の目標に沿った内容を各自で学習する					

教科	地理・歴史	科目	世界史B	授業 時数		週3時間	教材	詳説世界史 (山川出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5,6,7,8組(選択)									
時期	項目				到達目標					
前期	4月	中国の古典文明 殷～漢帝国			<ul style="list-style-type: none"> ・中国文明の起源を理解する ・中華文明の形成期の社会や文化を理解する。 					
	5月	北方民族活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 モンゴルの大帝国			<ul style="list-style-type: none"> ・中国の分裂と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度や文化を理解する。 ・モンゴル帝国の興亡と諸地域に与えた影響を理解する。 					
	6月	アジア諸地域の繁栄 明朝と隣接諸地域			<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の動向を確認し理解する。 ・明朝の経済、文化を理解する。 					
	7月	清代の中国と隣接諸地域 世界の災害・防災を考察			<ul style="list-style-type: none"> ・清朝の社会、文化を理解する。 					
	第1回定期試験実施									
夏 休 み	大学入試問題の研究・復習、ノート整理				<ul style="list-style-type: none"> ・主題学習に積極的に取り組ませる。 ・進度にあわせて史料問題・文化史問題に取り組む ・歴史の流れを縦だけでの理解に留めず、横(国や地域間)にも幅広く理解する 					
前期	9月	イスラーム世界の形成			<ul style="list-style-type: none"> ・ムハンマドの活動やイスラーム教の特質を把握する。 					
後期	10月	イスラーム世界の発展 イスラーム文明の発展			<ul style="list-style-type: none"> ・アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する ・イスラーム文明を学び、形成されたネットワークを理解する。 					
	11月	トルコ化とイスラーム化の進展 インドの古典文明 ムガル帝国の興隆			<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム文明を学び、形成されたネットワークを理解する。 ・インド文明の成立と発展を理解する。 インド社会におけるイスラームの浸透を理解する。 					
	12月	アジア諸地域の動揺			<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の動向を確認し理解する。 					
	第2回定期試験実施									
冬 休 み	自宅学習				<ul style="list-style-type: none"> ・各自が不得意とする分野の復習・問題演習 ・過去問題を解いて出題傾向に慣れる 					
1 月	自宅学習				各自で自分の目標に沿った問題演習・復習を行う					

教科	地理・歴史	科目	日本史B	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史 (山川出版)	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校3年1組									
時期	項目			到達目標						
前期	4月	・列強の接近～開国			西欧諸国の近づきから開国までの流れを掴む。					
	5月	・幕末			幕末から江戸幕府滅亡の流れを掴む。					
	6月	・明治維新と富国強兵			明治政府の諸政策を理解する。					
	7月	・明治時代 第1回定期試験までに小テストを1回実施			明治初期の内政・外交を理解する。					
夏 休 み										
前期	9月	・明治時代 ・日清戦争 日露戦争			(7月の続き) 日本と朝鮮・中国の関係を理解し、日清戦争の流れを掴む。日本とイギリスの関係、日本とロシアの関係を理解し、露戦争の流れを掴む。					
	10月	・第一次世界大戦と日本			当時の日本の状況を復習し、第一次世界大戦の参戦・勝利から、その後の国際社会の流れを掴む。 ※関東大震災から防災について考える					
後期	11月	・恐慌の時代～軍部の台頭～第二次世界大戦			第二次世界大戦までの流れを大まかに掴む。 (進度によって、内容変更の可能性あり)					
	12月									
冬 休 み										
後期	1月	自宅学習								

教科	地理・歴史	科目	日本史B	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史B (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 4組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	織豊政権			戦国期、信長・秀吉の時代の政治・社会について学習する。 江戸幕府初期の支配体制・外交について学習する。				
	5月	幕藩体制の成立			江戸時代初期の社会・経済について学習する。 元禄期・正徳の治、当時の経済について学習する。				
	6月	幕藩社会の構造							
	7月	幕政の安定			江戸幕府の安定期について、理解する。				
		第一回定期試験			織豊政権～幕政の安定				
夏 休 み		問題演習			夏休みの課題				
前期	9月	経済の発展			幕藩体制期の農業や商工業の発展について理解する。				
後期	10月	幕政の改革			享保の改革・田沼時代の政治・経済・外交について学習する。				
	11月	幕府の衰退と近代への道			寛政・天保の改革を中心に、当時の外交についても学習する。 ※防災教育を実施する。				
	12月	第二回定期試験			経済の発展～幕府の衰退と近代への道				
冬 休 み		自宅学習			各自が不得意とする分野の復習・問題演習 進度にあわせて史料問題・文化史問題に取り組む 過去問題を解いて出題傾向に慣れる				
後期	1月	自宅学習			各自で自分の目標に沿った問題演習・復習を行う				
	2月	自宅学習							
春 休 み									

教科	地理・歴史	科目	日本史B	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史B (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5～8組								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	平安王朝の形成 貴族政治と国風文化			平安時代の政治・文化について学び、貴族によっておこなわれた政治の現代への継承を理解する。				
	5月	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会			貴族社会から武士社会への変化の過程と、武士社会の特徴を学び、近代日本への道筋を理解する。				
	6月	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 織豊政権			武士の社会の発展と栄枯盛衰について学び、政治の経済・文化とのかかわりについて考える。				
	7月	※各時代の文化については、プリント等で確認							
		第一回定期試験			平安王朝の形成～織豊政権				
夏休み	内部推薦試験対策								
前期	9月	幕藩体制の成立			江戸幕府の成立期を学び、封建制の利点と問題点への理解を深める。				
後期	10月	幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展			約260年間継続した江戸幕府の社会的・経済的な構造を学び、人々が安定した生活を送るために必要なモノは何かを理解する。				
	11月	江戸中期の宝永の富士山噴火とその被害について(防災)			歴史的な災害から防災の必要性を考える				
	12月	幕政の改革 幕府の衰退と近代への道			安定していた江戸幕府の財政的な問題と三大改革について学び、経済政策と民衆の不満の高まりによる政権衰退の要因を理解する。				
		第二回定期試験			幕藩体制の成立～幕府の衰退と近代への道				
冬休み									

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学Ⅱ改訂版 アベレージ改訂版 数学Ⅱ+B	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組, 5組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第5章 指数関数と対数関数 第1節. 指数と指数関数			指数の基本的な性質を理解し計算ができるようにし、 指数関数のグラフをかけるようにする。				
	5月	第2節. 対数と対数関数			対数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。 対数関数のグラフをかけるようにする。				
	6月	第6章 微分と積分			対数の方程式・不等式を解けるようにする。				
	7月	第1節. 微分係数と導関数 第1回定期試験			微分係数から導関数に発展させ計算ができるようにする。				
夏 休 み									
前期	9月	第2節. 導関数の応用			関数の増減から極大・極小、および最大・最小を調べ 関数のグラフをかけるようにする。				
後 期	10月	第3節. 積分 第2回定期試験			不定積分の定義を理解して、計算ができるようにする。 定積分の性質や公式を理解して、計算ができるようにする。 平面図形の面積を定積分を用いて求めることができることを 理解させ、面積を求められるようにする。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
	11月								
	12月								
冬 休 み									
後 期	1月								
	2月								
	3月								
春 休 み									

教科	数学	科目	数学Ⅲ	授業 時数	週 5 時間	教材	啓林館 数学Ⅲ 改訂版 エスコート 改訂版 数学Ⅲ	種別	高校
学年 組 類型	高校3年2組, 3組								
時期	項目			到達目標					
前期	4・5・6・7月	第5章 微分法 1. 微分と導関数 2. いろいろな関数の導関数 3. 導関数の応用 4. いろいろな応用 第6章 積分法 1. 不定積分 2. 定積分 3. 面積 4. 体積 5. 曲線の長さ 第1回定期試験	微分概念と連続関数との関係を把握する。 微分法の演算、積・章の微分法、 合成関数の微分法の演算技法を知る。 いろいろな関数の導関数を求める。 接線の方程式が求められるようにする。 平均値の定理と関数の増減の基本性質の理解。 増減表の完成。 実数解の個数を調べる。 変曲点や極値の判定をする。 運動や速度と微分法との関係を知る。 関数の積分を知る。 部分分数を理解する。 置換積分法・部分積分法を理解する。 定積分へ応用する。 偶関数・奇関数の利用。 いろいろな面積を積分で求める。 回転体・立方体の体積を求める。 Y軸の周りの回転体の体積と区分求積法と定積分の関係。						
夏 休 み									
前期	9月	第3章 数列の極限 1. 無限数列 2. 無限級数	数列・級数の概念を知り、収束、発散、振動を知る。 極限値の計算の活用ができること。 循環小数を知る。関数の極限を知る。 関数の連続性と基本性質を知る。 循環小数を知る。関数の極限を知る。 関数の連続性と基本性質を知る。						
後期	10・11・12月	第4章 関数の極限 1. 分数関数と無理関数 2. 関数の極限と連続性 第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 平面図形と複素数 第2章 平面上の曲線 1. 2次曲線 2. 媒介変数と極座標 第2回定期試験	分数関数・無理関数はグラフが描けるように 逆関数・合成関数は、その意味を知ること。 三角関数において弧度法が使用できること。 和を積に積を和に直すこと。 数列・級数の概念を知り、収束、発散、振動を知る。 極限値の計算の活用ができること。 複素数を座標平面上の点で表すことにより、 複素数平面を考える。 この平面上で複素数の和や差、実数倍の図形的性質を調べる。 楕円、双曲線、放物線の方程式の基本性質を理解させる。 2次曲線と直線の共有点を知る。 図形の平行移動を確認する。 曲線の媒介変数表示、曲方程式による曲線を理解する。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。						
冬 休 み									

教科	数学	科目	受験数学	授業 時数		週5時間		教材	啓林館 フォーカスゼータ数学Ⅰ+A フォーカスゼータ数学Ⅱ+B	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 3組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	数学Ⅰ+A 第4章 2次関数				フォーカスゼータの各章の「節の問題」を中心に演習する。					
	5月	第5章 図形と計量 数学Ⅱ+B									
	6月	第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数									
	7月	第6章 微文法 第7章 積分法 第1回定期試験									
夏休み											
前期	9月	数学Ⅰ+A 第7章 個数の処理 第8章 確率 第9章 整数の性質				フォーカスゼータの各章の「節の問題」を中心に演習する。					
後期	10月	数学Ⅱ+B 第8章 数列				フォーカスゼータの各章の「節の問題」を中心に演習する。					
	11月	第9章 平面上のベクトル 第10章 空間のベクトル									
	12月	第2章 高次方程式 第3章 図形と方程式 第2回定期試験									
冬休み											
後期	1月 2月 3月										防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。
春休み											

教科	数学	科目	受験数学 I A	授業 時数	週 2 時間	教材	数研出版 ベーシックスタイル 数学演習 I・II・A・B	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 自由選択科目								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1章 数と式			この問題集はCheck・Style・Same Style・Complete・まとめの問題の5つのレベルに分かれている。 授業ではCheck・Style・Same Style・Completeまでを演習し、必要に応じてまとめの問題も取り上げ、受験に必要な知識・技能を身に着ける。				
	5月	第2章 2次関数							
	6月	第3章 図形と計量							
	7月	第4章 データの分析							
夏 休 み									
前期	9月	第5章 場合の数と確率							
後期	10月	第6章 図形の性質			防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
	11月	第7章 整数の性質							
	12月								
冬 休 み									
後期	1月								
	2月								
	3月								
春 休 み									

教科	数学	科目	受験数学ⅡB	授業 時数	週 2 時間	教材	数研出版 ベーシックスタイル 数学演習 I・II・A・B	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 自由選択科目								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第8章 式と証明			この問題集はCheck・Style・Same Style・Complete・まとめの問題の5つのレベルに分かれている。 授業ではCheck・Style・Same Style・Completeまでを演習し、必要に応じてまとめの問題も取り上げ、受験に必要な知識・技能を身に着ける。				
	5月	第9章 複素数と方程式							
	6月	第10章 図形と方程式							
	7月	第11章 三角関数							
夏 休 み									
前期	9月	第12章 指数関数と対数関数							
後期	10月	第13章 微分法と積分法			防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
	11月	第14章 ベクトル							
	12月	第15章 数列							
冬 休 み									
後期	1月								
	2月								
	3月								
春 休 み									

教科	理科	科目	物理	授業 時数	週5時間	教材	物理 改訂版 (啓林館)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(必修選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4~6月	物理基礎の続き(第3部 波から) 第2部 物理現象とエネルギー 第2章 波とエネルギー <波動> (第3章 光の性質) 専門の教科書			波の概念、波の伝播、波の種類(縦波と横波)、波の重ね合わせ、反射、屈折、干渉、回折などの波が有するいくつかの性質について理解を深める。波の表し方について学ぶ。 地震波の伝搬の仕組みを地球の内部構造と照らし合わせながら考える。 音の性質を一般的な波の性質と関連付けながら理解する。 物理基礎で学んだ波動の基本概念を光に応用して考察する。				
	7月	第3章 電気とエネルギー 第3章 エネルギーとその利用			電気の発生原因とその物理的性質について理解する。 電流の定義と電気抵抗について理解する。合成抵抗の計算をマスターする。電磁誘導現象を知り、モーターや発電機などの応用と関連付ける。交流について直流と比較しながらその性質を理解する。電磁波の種類と応用例を知る。 生活を取り巻くエネルギー環境について理解をする。その分類として、枯渇性エネルギーと再生可能エネルギーがあることを理解する。太陽光エネルギー、化石燃料、原子力エネルギーなどの性質の違い、利用方法について学ぶ。				
	7月	第1回定期試験							
前期	9月	第1部 様々な運動 第1章 物体の運動とつり合い 第2章 運動量と力積			直線運動の発展として、放物運動を定式化し任意の点における速度や距離を求められるようにする。剛体のつり合いについて力のモーメントの概念を理解する。 運動量の定義、運動量の保存について学ぶ。力積(運動量の変化)について理解する。反発係数について理解する。				
	9月	第3章 円運動と単振動 第4章 万有引力 第5章 気体分子の運動 (熱とエネルギー) 基礎の教科書			円運動と円運動における速度、加速度の定義について理解する。 慣性力(見かけの力)について理解する。 振動する物体の運動様式を記述できるようにする。振動体のエネルギーを定式化する。 惑星の運動と回転運動を関連付けて理解する。万有引力について学ぶ。 気体の状態方程式を学ぶ。気体の熱運動の様子から状態方程式が理論的に導かれることを知る。熱力学第一法則と気体の状態変化について理解を深める。 熱量の保存、熱の移動のしくみ(熱伝導、対流、熱放射)の概念について理解を深める。 熱の利用の一例として熱機関を取り上げ、背景に含まれる熱力学の基本法則について理解する。エネルギーの相互変換について知り、自然界における普遍原理であるエネルギー保存則について理解する。自然現象における変化の方向について、その原理について理解する(熱力学第二法則)。				
後期	10月	第3部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第2章 電流			電場中の電荷のポテンシャル(電位)について理解を深める。 コンデンサーの種類と性質について学ぶ。複数のコンデンサーを接続したときの合成容量の求め方を学ぶ。 電流の発生原因と大きさについて学ぶ。オームの法則の物理的要因を考察する。 電気回路の基礎について理解を深める。				
	11月	第3章 電流と磁界 第4章 電磁誘導と電磁波			磁気力と磁界の関係についてクーロンの法則と対応付けながら理解する。アンペールの法則(右ねじの法則)について学ぶ。 フレミングの左手の法則を理解し、電流が磁界から受ける力を定量的に見積もる。磁界中の荷電粒子に働く力(ローレンツ力)の定式を導く。 レンツの法則とファラデーの電磁誘導の法則について理解する。自己誘導と相互誘導について学ぶ。 電磁波の種類、その発生原因、電磁波の性質について理解する。 物質の成り立ちを理解し、気体の分子運動論、熱力学の基礎について学ぶ。				
	12月	第3部 物質と原子 第2回定期試験			原子中の電子の振る舞いについて理解し、金属、半導体、不導体におけるエネルギー状態を量子力学的に考察する。				
冬 休 み									
後 期	1月								

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週3時間	教材	改訂 化学 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光			物質に固有のエネルギー(化学エネルギー)が存在することを認識し、化学反応に伴い熱の出入りが生じることを理解する。水で食品を温めることができる「ヒートパック」を利用し、災害時に役立つ防災グッズから防災に関連した授業を展開する。 有機化合物の特徴、分類の仕方について学ぶ。炭化水素の性質、構造について理解する。構造異性体の違いを構造式などで表せるようにする。 酸素原子を含む脂肪族化合物について学ぶ。また、官能基による一般的な性質や反応性の違いを理解する。元素分析による組成式や分子式を決定し、その化学的性質から構造式まで導き出せるようにする。				
	5月	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素							
	6月	3章 アルコールと関連化合物							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み		7月までの範囲の総復習							
前期	9月	4章 芳香族化合物			ベンゼンを中心とする芳香族化合物の分類と特徴を学ぶ。芳香族化合物の反応系統を理解する。 身の回りの有機化合物について、日常生活でどのように利用されているか学ぶ。				
		5章 有機化合物と人間生活							
後期	10月	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物			高分子化合物の分類と表記の仕方について学ぶ。天然高分子である糖類、タンパク質の成り立ち、構造、性質について学ぶ。 合成高分子の成り立ち、性質について学ぶ。 高分子化合物の新しい機能、その処理における課題について学ぶ。				
		2章 合成高分子化合物							
		3章 高分子化合物と人間生活							
		第2回定期試験							
冬 休 み									
後期		第3回定期試験							
春 休 み									

教科	理科	科目	生物	授業 時数	週5時間	教材	改訂 生物 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(必修選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	生体構造と細胞			細胞におけるタンパク質の構造と働きについて理解を深める。				
	5月	タンパク質の構造と酵素			DNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。				
	6月	代謝とエネルギー			呼吸と光合成について深く学びエネルギーの利用や変換を理解する。				
	7月	遺伝子のはたらき			遺伝子の発現調節の概要を転写レベルの調節を中心に学ぶ。				
		第1回定期試験			→授業進度により範囲の変更有り				
夏 休 み									
前期	9月	生殖と発生			有性生殖における減数分裂と受精、初期発生の過程を学ぶ。				
後期	10月	生物の環境応答			環境応答における各種の植物ホルモンや受容体のしくみを理解する。				
	11月	生態と環境			生態系の変化において人と環境について学び防災意識を高める。				
	12月	生物の進化と系統			生命の起源および生物の変遷を学び、生物と地球環境の変化を知る。				
		第2回定期試験			→授業進度により範囲の変更有り				
冬 休 み									
後期									
春 休 み									

教科	理科	科目	生物基礎	授業 時数	週2時間	教材	改訂 生物基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 (文系自由選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生命活動とエネルギー			生物の起源と生物に備わる機能について学ぶ。 生体内におけるエネルギーの吸収と放出について学び、それに伴う化学反応を理解する。				
	5月	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子			生物のDNAの構造について学び、DNAの持つ性質を理解する。				
	6月	2章 遺伝情報の分配			DNA複製の仕方や、細胞分裂時におけるDNA量の変化を理解する。				
	7月	3章 遺伝情報とタンパク質の合成 第1回定期試験			タンパク質の構造を学び、タンパク質合成のしくみを理解する。また、タンパク質合成に必要なRNAとDNAの違いを明確にする。				
夏 休 み		4月～7月までの総復習							
前期	9月	3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境 2章 体内環境を維持するしくみ			循環系を主とし、体内環境の特徴を学ぶ。 生体内におけるさまざまな調節を神経系とホルモンの2つから学ぶ。災害時などにおこる身体症状と神経系との関連から、防災教育を行う。				
	10月	3章 免疫			生体内で起こるウイルスや細菌に対する反応を学ぶ。				
後期	11月	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移			植生の遷移の仕方を学び、植生と深くかかわる環境要素を理解する。				
		2章 バイオームとその分布			世界のバイオームの分布と特徴が一致するよう学ぶ。				
	12月	3章 生態系とその保全 第2回定期試験			自然界の生態系について学び、人間活動による生態系の保全を伝える。				
冬 休 み									
後 期									
春 休 み									

教科	理科	科目	理科演習(物理)	授業 時数	週2時間	教材	物理改訂版 (啓林館)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(自由選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1部 様々な運動(演習を中心に行う) 第1章 物体の運動とつり合い			直線運動の発展として、放物運動を定式化し任意の点における速度や距離を求められるようにする。剛体のつり合いについて力のモーメントの概念を理解する。				
	5月	第2章 運動量と力積			運動量の定義、運動量の保存について学ぶ。力積(運動量の変化)について理解する。反発係数について理解する。				
	6月	第3章 円運動と単振動			物体の運動の激しさ(破壊効果)を表す運動量から減災の方法について学ぶ。 円運動と円運動における速度、加速度の定義について理解する。 振動する物体の運動様式を記述できるようにする。振動体のエネルギーを定式化する。				
	7月	第1回定期試験			口頭試問による試験(100点)				
夏 休 み									
前期	9月	第4章 万有引力 第5章 気体分子の運動			惑星の運動と回転運動を関連付けて理解する。万有引力について学ぶ。 気体の状態方程式を学ぶ。気体の熱運動の様子から状態方程式が理論的に導かれることを知る。熱力学第一法則と気体の状態変化について理解を深める。				
	10月	第3部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第2章 電流 第3章 電流と磁界			電場中の電荷のポテンシャル(電位)について理解を深める。 電流の発生原因と大きさについて学ぶ。オームの法則の物理的因を考察する。 磁気力と磁界の関係についてクーロンの法則と対応付けながら理解する。アンペールの法則(右ねじの法則)について学ぶ。 フレミングの左手の法則を理解し、電流が磁界から受ける力を定量的に見積もる。磁界中の荷電粒子に働く力(ローレンツ力)の定式を導く。				
後期	11月	第4章 電磁誘導と電磁波 第3部 物質と原子			レンツの法則とファラデーの電磁誘導の法則について理解する。自己誘導と相互誘導について学ぶ。 電磁波の種類、その発生原因、電磁波の性質について理解する。 物質の成り立ちを理解し、気体の分子運動論、熱力学の基礎について学ぶ。 原子中の電子の振る舞いについて理解し、金属、半導体、不導体におけるエネルギー状態を量子力学的に考察する。				
	12月	第2回定期試験			口頭試問による試験(100点)				
冬 休 み									
後 期									

教科	理科	科目	理科演習(化学)	授業 時数	週2時間	教材	改訂 化学 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(自由選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	3編 化学反応の速さと平衡 化学反応の速さ			<p>化学反応の速さの表し方と、反応の速さに影響を及ぼす条件について理解する。 化学反応が分子間での衝突であることを、エネルギーの概念とともに理解する。</p> <p>化学反応は常に一方向に進むとは限らないことを、反応速度の関係から学び、化学平衡の状態について理解する。 条件の変化によって、化学平衡の移動が生じることを理解する。 電離による平衡を学び、水素イオン濃度とpHの求め方を習得する。</p>				
	5月	化学平衡							
	6月	水溶液中の化学平衡							
	7月	授業内試験							
夏 休 み		無機物質(宿題)			非金属元素の性質, 典型金属元素, 遷移元素				
前期	9月	問題演習(化学基礎範囲)			<p>実践アクセス総合化学、あるいは共通テスト過去問題より、頻出問題の演習を行う。 弱点補強と実践力を強化する。</p>				
					<p>防災学</p> <p>「混合物の分離」において、各種分離操作を用いた「飲料水を確保する手法」について探究・実験を行う。 また、その他の各原理や物質が、身近な防災手段やグッズへ応用されている点について、実験を通して興味・理解を深める。</p>				
後期	10月	問題演習(理論化学範囲)							
	11月	問題演習(有機化学・無機化学範囲)							
	12月								
冬 休 み									
後 期									
春 休 み									

教科	理科	科目	理科演習(生物)	授業 時数	週2時間	教材	改訂 生物基礎・生物 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(自由選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	生物基礎 生物の特徴(復習)			生物の共通点、細胞小器官の構造と働きについて理解する				
	5月	生物基礎 生物 生物の特徴(復習)			呼吸と光合成に関わるATPおよび酵素の構造と性質について理解する				
		生物基礎 生物 ・遺伝子とその働き(復習)			遺伝子の構造と性質、複製の仕方およびタンパク質合成について理解する。				
	6月	生物基礎 生物の体内環境の維持(復習)			恒常性、腎臓と肝臓の構造と働き、自律神経系と内分泌系における調節について理解する。				
		生物基礎 免疫 (復習)			免疫のメカニズムについて理解する。				
		第1回定期試験(授業内試験)			試験範囲:生物基礎の分野すべて(進度によって変更有)				
夏 休 み		課題(生物基礎・生物分野)			生物基礎の内容および「高校3年 生物」の授業にて扱った分野を復習し、理解する。				
前期	9月	生物基礎 復習 生物多様性、免疫と防災 DNAを用いた計算問題 自律神経系、内分泌系および免疫の演習 実験演習			生物の多様性・保全、また免疫の内容にて災害後の二次災害について考えながら防災について考える。計算問題やグラフなどを用いた考察問題を重点的に復習する上で、理解度を深める				
後期	10月	生物 呼吸と光合成、酵素、実験演習			呼吸と光合成の仕組みおよび酵素について実験を踏まえて理解する				
	11月	生物 遺伝子の働き			タンパク質合成や遺伝子の発現調節について理解を深める				
	12月	神経系と恒常性			ニューロンの構造や種類などを理解する				
		第2回定期試験			試験範囲:9月から扱った内容すべて(進度によって変更有)				
冬 休 み									
後期									
春 休 み									

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(男子)								
	時期	項目			到達目標				
前 期	3週	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動 【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ			【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。				
	6週	【ソフトボール】 1) 基本的技能 ① 守備 ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング(下投げ) ② 攻撃 ・バットの握り方 ・バッティング(トスバッティング、ティーバッティング) 2) 発展的スキル(ゲーム形式による練習) ① 守備練習 ・定位置でのノック(捕球) ・連携プレー(捕球→送球) ・ゲーム形式による守備練習 ② 攻撃 ・バッティング(フリー) ③ 走塁 ・状況に応じた走塁 3) ゲーム			投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的スキルを身に付ける。相手の攻防に応じて作戦を立てながらゲームができる。 また、状況に応じた打撃や走塁と守備の連携プレーによって、攻防を展開できるようにする。				
後 期	5週	【サッカー】 1) 集団的スキル・グループ戦術 ・3対3、5対5、7対7のミニゲーム ・3対3、5対5、7対7の規則ゲーム 2) ゲーム ・11対11のフルゲーム			2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種のゲームを実施し、個人スキル・戦術のさらなる進歩と、集団としての創意工夫を目指し、チームとしての進化と達成感を得るようにする。				
	5週	【バスケットボール】 1) 個人的スキル ① ドリブル各種 ② シュート各種 ③ 移動しながらのパス 2) 集団的スキル ① アウトナンバーでの攻防 (2対1、3対2) ② マンツーマンディフェンスでの攻防 (3対3、5対5) 3) ゲーム			個人的スキルをもとに、攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームができるようにする。				

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組～8組(男子)								
時期	項目		到達目標						
前 期	3週	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動 【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ	【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。						
	5週	【卓球】 1) 基本的技能 ・ストローク(フォア、バック) ・サービス ・スマッシュ ・ラリーゲーム 2) 集団的技能 ・パートナーとの連携を考えた打球 ・フットワークを活用したゲーム 3) ゲーム	自分や相手の特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サービスなどの安定したボール操作を巧みに使い、ゲームを展開できるようにする。						
	8週								
後 期	8週	<選択球技専門> 【選択サッカー】 1) 集団的技能・グループ戦術 ・3対3、5対5、7対7のミニゲーム ・3対3、5対5、7対7の規則ゲーム 2) ゲーム ・11対11のフルゲーム	ゴール型球技2種目より1種目を選択 2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種のゲームを実施し、個人技能・戦術のさらなる進歩と、集団としての創意工夫を目指し、チームとしての進化と達成感を得るようにする。						
	8週	【選択バスケット】 1) 個人的技能 ・ドリブル ・シュート ・パス各種 2) 集団的技能 ・オールコートでのアウトナンバーの攻防 ・マンツーマンディフェンスでの攻防 ・ゾーンディフェンスでの攻防 3) ゲーム ・5対5	2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種のゲームを実施し、個人的技能をもとに攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームを展開できるようにする。						

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組～8組(女子)								
時期	項目				到達目標				
前 期	3週	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動 【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20m シャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ			【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役 立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。				
	7週 ～ 8週	【ソフトボール】 1) 基本的技能 ① 守備 ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング(下投げ) ② 攻撃 ・バットの握り方 ・バッティング 2) 発展的 skill (ゲーム形式による練習) ① 守備練習 ・定位置でのノック(捕球) ・連携プレー(捕球→送球) ・ゲーム形式による守備練習 ② 攻撃 ・バッティング(フリー) ③ 走塁 ・状況に応じた走塁 3) ゲーム			体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分 析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動 に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにす る。 投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付ける。相手の 攻防に応じて作戦を立てながらゲームができる。 また、状況に応じた打撃や走塁と守備の連携プレーによって、攻 防を展開できるようにする。				
後 期	4週	<選択球技専門> 【選択バスケット】 1) 個人的技能 ・ドリブル ・シュート ・パス各種 2) 集団的 skill ・オールコートでのアウトナンバーの攻防 ・マンツーマンディフェンスでの攻防 ・ゾーンディフェンスでの攻防 3) ゲーム ・5対5			ゴール型およびネット型球技より2種目を選択 1年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種 のゲームを実施し、個人的技能をもとに攻撃や防御の戦術をチー ムで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームを展開できるよ うにする。				
	4週	【選択バレーボール】 1) 基本的 skill ・パス ・サーブ ・スパイク 2) 集団的 skill ① 攻撃 ・レシーブ～トス～スパイク(三段攻撃) ② 防御 ・サービスレシーブからの攻撃 ・チャンスボールからの攻撃 ・ブロック 4) ゲーム			2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、個人的 技能をもとに攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的 に変化に富んだゲームを展開できるようにする。				
	4週	【選択卓球】 1) 基本的 skill ・ストローク(フォア、バック) ・サービス ・スマッシュ ・ラリーゲーム 2) 集団的 skill ・パートナーとの連携を考えた打球 ・フットワークを活用したゲーム 3) ゲーム ・ダブルス			自分や相手の特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜び を味わい、各種ストローク、サービスなどの安定したボール操作を 巧みにを行い、ゲームを展開できるようにする。				

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週1時間	教材	柔道教本 (共栄出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組～8組(選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	学習のねらい 柔道の意義・修行の目的 (女子)護身術・組みつかれた場合7本・離れた場合5本・計12本 (男子)投げ技(小内刈り) 投げ技の復習・応用 (女子)護身術 組みつかれた場合7本			自己の形成を図る武道の精神を学び、日常生活に生かす態度を養う。基本動作を身につけ、对人的技能を生かした攻防の仕方を工夫して、練習や試合ができるようにする。また、ルールや審判の方法を学び禁じ技を用いないなど禁止事項を守るとともに、安全に留意して練習や試合ができるようにする。全て安全優先で行う。 意義「精力善用・自他共栄」を理解させ人間教育を考えさせる。崩しの原理を理解する。				
	5月	(男子)自由練習・投げ技 連絡技 背負い投げ→小内刈り			(女子)7本動作を覚え、取・受のメリハリをつける。間の取り方と取・受の呼吸を合わせる。				
	6月	(男子)連絡技 背負い投げ→小内刈り・連絡技の応用 (女子)護身術 組みつかれた場合7本			背負い投げ→小内刈りのタイミングと相手に配慮をした投げ方受身の取り方を評価する。				
	7月	試験			(女子)7本の動作、取・受のメリハリ、呼吸が合っているかを評価する。				
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 (男子)投げ技・連絡技・自由練習の応用 (女子)護身術 組みつかれた場合7本の復習と新たに離れた場合の5本			安全な経路の確認、自助について学ぶ 大内刈り→背負い投げ・大内刈り→体落としなど、タイミングを覚える。 (女子)取・受のメリハリをつける。間の取り方と取・受の呼吸を合わせる。				
	10月	(男子)ルール・自由練習(立技・寝技)			試合の進め方とルール 禁止事項・安全性について学習する。				
後期	11月	(女子)護身術 組み付かれた場合7本 離れた場合 5本 計12本 復習と試験練習			(女子)12本を通して行い、取・受のメリハリをつける。間の取り方、取・受の呼吸を合わせる。				
	12月	3年間の総合復習 礼法 受身 打ち込み 固め技 自由練習 試験			(男子)大外刈り・大内刈り・背負い投げ・体落としから2種目。各3本ずつ投げる。投げ方、受身の取り方を評価する。 (女子)護身術12本を通して行い、取・受のメリハリや間合いの取り方、呼吸の合わせ方を評価する。				
冬 休 み									

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週1時間	教材		種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組～8組(選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月・5月	《ガイドンス》 3年次の授業内容・学習のねらい			剣道の歴史や精神を学び、剣道を通して日常生活に必要な 礼儀や生活態度を身につける。正しい構えから気剣体一致 の技を出せる様になる。				
	6月	切り返し・基本打ち			切り返しの反復練習から正しい打突や手の内を覚える。 木刀による基本技稽古法を応用する。				
	7月	応じ技			相手の技に対応し、打ち切る。				
	7月	試験			切り返し				
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方			安全な経路の確認、自助について学ぶ				
		男子、試合・審判			試合のルールを正確に憶える。				
		女子、日本剣道形			日本剣道形で礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を学ばせる。				
後 期	10月	審判			基本の動作を身につける。				
		剣道形、1・2・3本目			打ち立ちと仕立ちの意味、役割を理解させる。				
	11月	チームを作り対戦させる			チームを分け審判と試合者の役割を理解させる。				
		剣道形、4・5本目			礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を正確に理解させる。				
	12月	試験			男子 試合 女子 剣道形				
冬 休 み									

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	授業 時数	週 2 時間	教材	MOUSA 2 (教育芸術社) Music Note (啓隆社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	ウクレレについて学ぶ(年間を通してウクレレを学習する)			楽器の形状、音色、特徴などを理解し、正しい奏法で演奏する。 アンサンブルの楽しさを味わう。				
	5月	ピアノ			ピアノを通して、読譜、楽語、楽典を学ぶ。 正しい奏法で両手で演奏することを目標に。1曲を仕上げ。				
	6月	鑑賞			幅広いジャンルの作品に触れる。				
	7月	楽典(基礎)			音楽の基礎部分の復習・譜読みを繰り返し行う。				
夏 休 み									
前期	9月	芸術鑑賞会に向けてオーケストラについて学ぶ			芸術鑑賞会の題材を中心に、オーケストラの楽器、奏法、音色、楽曲について知る。				
後期	10月	さまざまな歌曲に親しむ			日本語や外国語の歌曲に触れ、歌詞や旋律の美しさ、伴奏とのかかわりなどを味わう。				
	11月	防災と音楽			防災に関する内容を扱う。緊急速報の音を題材に、それぞれ違う性格を持つ和音について学び、自分なりの緊急速報の音を作り出す。				
	12月	ミニコンサート まとめ			少人数、もしくは個人で興味がある楽器・歌を選択し、音楽の授業の集大成として、練習した成果をコンサート形式で発表する。				
冬 休 み									
後期									
春 休 み									

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	授業 時数	週 2 時間	教材	2 東京書籍 書Ⅱ 305	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組, 5組～8組								
	時期	項目				到達目標			
前期	4月	書道Ⅰから書道Ⅱへ。姿勢と執筆法。 書道Ⅰで学んだ中国と日本の代表的な古典を鑑賞し、表現を学ぶ。臨書の復習。 防災に関する内容を扱う。				芸術書道に親しむ。 書道Ⅰで習った内容を確認し、今後の書に生かす。執筆法、姿勢の確認。線の表情の認識。			
	5月	漢字・仮名の古典を鑑賞し、特徴を生かして漢字仮名交じりの書を書く。漢字と仮名を調和させた表現方法を理解する。				書の表現力をつかむ。 古典作品の特徴をつかむことで表現力の幅を広げる。 筆法、道具による表現方法の違いを理解する。			
	6月	字の変遷の復習。楷書・行書の臨書。表現と鑑賞。書道Ⅰとは異なる独特の字形を理解する。				それぞれの古典の持つ特徴の理解。筆法・字形・筆順を理解する。			
	7月	草書の臨書。表現と鑑賞。筆順の違いや字形の省略などから特徴を捉える。				時代背景・特徴をとらえ、様々な表現力を養う。			
夏休み		鑑賞。				日常の中での様々な書体を知る。			
前期	9月	隷書・篆書の臨書。表現と鑑賞。時代背景を学び、字形の特徴をとらえる。				それぞれの古典の持つ特徴の理解。			
後期	10月	仮名の書。連綿の書き方。古典の鑑賞。表現と鑑賞。				日本独自の書体・書法を鑑賞し、体験的に学習することで表現方法を理解する。			
	11月	仮名の書。散らし書きなどの表現方法。漢字仮名交じりの書。創作活動。				書道Ⅰ、Ⅱで学んだ表現の特徴を自分の作品に生かす。			
	12月	漢字仮名交じりの書。創作活動。				書道Ⅰ、Ⅱで学んだ表現の特徴を自分の作品に生かす。用具用材による表現の違いをとらえる。			
冬休み									
後期									
春休み									

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	美術Ⅱ (光村図書出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組,5～8組								
	時期	項目			到達目標				
前 期	4月～5月	平面作品の制作			空想や形のないものの表現				
	6月～9月	立体作品の制作							
後 期	10月～12月	「季節」をテーマにデザイン、作品を制作する			シルクスクリーン・木材などを使った表現 防災についての内容を扱う				

〈使用画材・教材〉

アクリル絵具・筆・画用紙・シルクスクリーン・金属板・金属加工道具・木工道具 等

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	授業 時数	週4時間	教材	LANDMARK Fit Ⅲ LANDMARK Fit Ⅲ workbook	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	L1 Emperor Penguins			動物・環境について学ぶ				
	5月	L1 Emperor Penguins			動物・環境について学ぶ				
	6月	L2 Caffeine			食物・健康について学ぶ				
	7月	L3 Blood is blood			人権・生き方について学ぶ				
		第1回定期試験							
夏休み	8月	夏休みの課題			まとめ問題集				
前期	9月	L4 Biomimetics			自然・化学について学ぶ				
後期	10月	L5 Communication without Words			言語・比較文化について学ぶ				
	11月	L6 Christmas Truce			戦争・平和について学ぶ				
	12月	L7 Political Correctness			言語・現代社会について学ぶ				
		第2回定期試験			【防災学習を含む】				
冬休み	12月								
後期	1月								
	2月								
	3月								
春休み	3月								

教科	英語	科目	コミュニケーション 英語Ⅲ	授業 時数	週5時間	教材	ELEMENT English Communication Ⅲ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2～4組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Lies, Damned Lies, and Statistics 統計に隠れた嘘やごまかしがどのように起こるのかについて理解する。統計の嘘やごまかしにだまされないためにはどうしたらよいかについて考える。			<リーディング> 段落ごとに意味をつかみ、未知単語・未知熟語を推測しながら読む訓練をする。また、多様な読解演習から情報を素早く読み取る力を養う。 <リスニング> 『スタディサプリENGLISH 4技能コース』 『共通テスト10分リスニングプレノート』 <英会話> 英語で防災に関するプレゼンテーションを行う。				
	5月	Lesson 2 Languages Extinction 世界の消滅していく言語と、その保存・復興の試みを理解する。その活動から、他の文化を尊重し、国際社会の平和と発展への寄与にはどうすべきかを考える。							
	6月	Lesson 5 A Class from Stanford University スタンフォード大学での授業の様子と、授業の基になる考え方を読み取る。個人の価値観を尊重し、能力や創造性を養う。							
	7月	【第一回定期試験】							
夏休み	8月	<夏休みの課題>							
前期	9月	Lesson 6 The Mpemba Effect ムベンバ効果について、またそれに対する評価や解釈を読み取る。科学的態度について考える。							
後期	10月	Lesson 7 Invisible Gorilla 実験の流れとその結果、導かれた真実を理解する。人間と科学技術の限界を知る大切さを考える。							
	11月	Lesson 8 Small Crime (2組のみ) 少年の心情の変化と、過去を語り少年を諭す父の心情を推測しながら読む。少年の行動と、父の過去の話から、自己を表現することについて考える。							
	12月	【第二回定期試験】							
冬休み	1月								
後期	1月								
	2月								
	3月								

教科	英語	科目	コミュニケーション 英語Ⅲ	授業 時数	週 4時間	教材	Revised LANDMARK English Communication Ⅲ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組								
時期	項目		到達目標						
前期	4月	Lesson 1 Caffeine : The World's Favorite Drug 実用英語技能検定対策	◆必要な語彙力を十分に身に付ける。 ◆意味をかたまりで捉え、英文を読む力を高める。						
	5月	Lesson 2 Blood Is Blood 実用英語技能検定対策	◆長文読解を通して、さまざまな知識や情報を得て、それについて自分の考えを深める。 ◆英文を声に出して読み、音読およびリスニングの力をつける。						
	6月	Lesson 3 Australia and its Creatures ◎防災に関する授業 第1回定期試験	◆長文に関する問題を解き、課題解決能力を身に付ける ◆単元ごとに小テストを行い、学習到達度を確認し、既習事項の復習を習慣づける。						
	7月		◆実用英語技能検定の過去問題を演習する。 ◆総合的な探究の時間で取り扱った問題を解説する。						
	8月								
9月	Lesson 4 The \$100,000 Salt and Pepper Shaker	◆意味をかたまりで捉え、英文を読む力を高める。 ◆長文読解を通して、さまざまな知識や情報を得て、それについて自分の考えを深める。 ◆複数人で問題に取り組み、話し合いや協力することにより、問題解決力を育てる。							
後期	10月	Lesson 5 Bilingual Effects in the Brain	◆長文に関する問題を解き、課題解決能力を身に付ける ◆単元ごとに小テストを行い、学習到達度を確認し、既習事項の復習を習慣づける。						
	11月	Lesson 6 Communication without Words	◆英文を声に出して読み、音読およびリスニングの力をつける。						
	12月	Lesson 7 Political Correctness 第2回定期試験							
冬休み	12月 1月								
後期	1月 2月 3月								
春休み	3月								
備考		副教材として次のものを使用する。	Revised LANDMARK E.C.Ⅲ 予習ノート Revised LANDMARK E.C.Ⅲ WORKBOOK スタディサプリENGLISH 中高生英会話コース						

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	授業 時数	週 2 時間	教材	音でマスター英語構文90	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組								
時期	項目		到達目標						
前期	4月	英語構文90 否定語を含む構文(32～37)	<ul style="list-style-type: none"> ◆英語構文を理解し、問題に取り組むことができる。 ◆4技能の均衡を図りながら、CDの音声を十分に聞き、正しい発音を発音することができる。 ◆内部推薦試験対策として、単元に対応した様々な問題に取り組むことができる。 ◆実用英語技能検定一次試験に合わせて、筆記試験やリスニング問題演習を行い、合格を目指す。 ◆単元別に小テストを行い、知識を定着させる。 						
	5月	英語構文90 条件構文(38～43)							
	6月	英語構文90 接続詞を含む構文(44～49)							
	7月	第一回定期試験							
夏 休 み	7月		◆内部推薦試験対策として、問題集を選定し、実力を養う。						
	8月	夏休みの課題							
前期	9月	英語構文90 比較構文(50～55)	<ul style="list-style-type: none"> ◆英語構文を理解し、表現することができる。 ◆4月から7月まで学習したことも活用することで応用力を身につける。 ◆4技能の均衡を図りながら、CDの音声を十分に聞き、正しい発音を発音することができる。 						
後 期	10月	英語構文90 その他の構文(56～61)	<ul style="list-style-type: none"> ◆高校卒業後、英語能力検定の取得やTOEICの点数を獲得するため、高校履修範囲の文法事項を理解し、使うことができる。 ◆単元別に小テストを行い、知識を定着させる。 ◆防災学習として避難時の英語表現を学ぶ 						
	11月	総復習							
	12月	第二回定期試験							
冬 休 み	12月								
	1月								
後 期	1月								
	2月								
	3月								
春 休 み	3月								
備 考									

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	授業 時数	週3時間	教材	Vision Quest English ExpressionⅡ HOPE	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2～4組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 2 How did your work experience go?			【年間到達目標】 1) 正確な英文法を習得し、自らを表現する。 2) 英語の特徴を理解し、日本語にとらわれず英作文に取り組むことができる。 3) 夏休み前までに基礎固めを完了する。 4) 入試問題に対応できる実践力をつける。 『Power Stage』 第1章、第3章、第4章、第16章 『音でマスター 英語構文90』 1. Itを含む構文、2. 不定詞を含む構文、 3. 動名詞を含む構文、4. 分詞を含む構文、 7. 関係詞を含む構文				
	5月	Lesson 3 Let me tell you a story.							
	6月	Lesson 4 I want to work as an air traffic contraller.							
	7月	Lesson 5 I wish I could have such an experience again.							
		【第一回定期試験】							
夏 休 み	8月	＜夏休みの課題＞							
前期	9月	Lesson 6 This is a photo taken in Vancouver, Canada.							
後 期	10月	Lesson 7 Are cell phones an essential part of our lives?			『Power Stage』 第5章、第7章、第8章、第10章 『音でマスター 英語構文90』 6. 否定語を含む構文、7. 条件構文、 8. 接続詞を含む構文、9. 比較構文、 10. その他の構文				
	11月	Lesson 8 Which do you like better, cats or dogs?							
	12月	【第二回定期試験】							
冬 休 み	1月								
後 期	1月				追記 Lessonの内容に合わせ、防災の内容を扱う。				
	2月								
	3月								

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	授業 時数		週2時間		教材	Vision Quest English Expression II Hope	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組 (文系Ⅱ類)										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	Lesson 2 How did your work experience go?				【前期目標】 ・文の種類を理解し、活用することができる ・時制を理解し、使い分けすることができる ・基本の助動詞を理解し、使い分けすることができる ・助動詞＋完了形を理解し、使い分けすることができる ・基本の態を理解し、活用することができる					
	5月	Lesson 3 Let me tell you a story.									
	6月	Lesson 4 I want to work as an air traffic controller.									
	7月	Lesson 5 I wish I could have such an experience again.									
	【第一回定期試験】										
夏休み	8月										
前期	9月	Lesson 6 This is a photo taken in Vancouver, Canada.									
後期	10月	Lesson 7 Are cell phones an essential part of our lives?				【後期目標】 ・形容詞表現の後置修飾の構造を知り、名詞の状態を さまざまな方法で説明できるようになる。 ・不定詞や分詞・接続詞を用いて、時や理由・譲歩・条件・ 付帯状況などを表す英文を作ることができる。 ・接続詞を用いて、時や理由・譲歩・条件・ 付帯状況などを表す英文を作ることができる。					
	11月	Lesson 8 Which do you like better, cats or dogs?									
	12月	【第二回定期試験】									
冬休み	12月 1月										
後期	1月					【副教材】 『Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK』 『音でマスター 英語構文90』 『総合英語 Vision Quest』 追記					
	2月					Lessonの内容に合わせ、防災の内容を扱う。					
	3月										

教科	英語	科目	受験英語演習	授業 時数		週1時間		教材	SKYWARD 2nd Edition SKYWARD 予習・復習ノート	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 文系I類										
	時期	項目		到達目標							
前期	4月	『SKYWARD 2nd Edition』 Unit1 資料の読み取り Unit2 大衆文化 Unit3 インタビュー Unit4 コミュニケーション Unit5 自然環境 Unit6 社会生活 Unit7 エネルギー Unit8 娯楽 Unit9 比較文化 Unit10 エッセイ 各Unitにて予習・復習ノートを使用し 内容の理解と語彙力の向上に務める テーマに沿った精読と読解力の向上に務める		【前期の目標】 ・リーディング目標 共通 共通テスト対策を目標とし、それに向けた精読・多読対策、時間配分が必要であることを理解する。長文読解の精度向上のために、自分にはどのような勉強が必要なのかを知る。 2組 日常的な表現の文章を読み取る。手紙やメールの出来事、感情、要望などの描写を読み取る。比較的難易度の低い英文を正確にスピーディに読み取る。 4組 短く簡単な文章を読み取る。広告などの素材から具体的な情報を探し出す。簡単な手紙を読み取る。難しすぎない英文なので、左から右に読み、日本語の語順に直しながら読まない習慣を身に着ける。							
	5月										
	6月										
	7月										
	【第一回定期試験】										
夏 休 み	8月										
前期	9月	『SKYWARD 2nd Edition』 Unit11 日常生活 Unit12 言語		【後期の目標】 ・リーディング 共通 私大入試問題は共通テストと違い、文章の難易度、及び文法問題の難易度が上がることを理解する。前期の内容に加え、正確な文法の深い知識が必要であることを理解する。長文読解の更なる精度向上に加え、記述問題への対応力を磨く。 2組 現代社会の問題に対して、特定の考え方や視点から書かれた記事やレポートを読み取る。 4組 日常的な表現の文章を読み取る。手紙やメールの出来事、感情、要望などの描写を読み取る。							
	10月	Unit13 環境論 Unit14 ノンフィクション Unit15 日本文化 Unit16 健康・医学 Unit17 教育 Unit18 政治 Unit19 産業 Unit20 科学技術 各Unitにて予習・復習ノートを使用し 内容の理解と語彙力の向上に務める。									
	11月										
後 期	12月			【防災学習を含む】							
	【第二回定期試験】										
冬 休 み	1月										
後 期	1月										
	2月										
	3月										